

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

幼稚園・学校番号	1803417
施設名（園名等）	第一若草幼稚園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

色

<テーマの設定理由>

絵本「くれよんのくろくん」を読んだきっかけに子どもたちは、色に興味を持つと身の回りの様々な物の色にも興味を持ち、赤 1 つでも薄い赤や濃い赤など、色探しを楽しむ姿があった。また絵画指導にて講師の先生と共に観察画や絵の具遊びなど色に触れる機会が多いため。

2. 活動スケジュール

4月 クレパスで描く ⇒ 色の名前を覚え 「クレヨンのくろくん」をきっかけに絵を描くことを楽しむ
6月 絵の具あそび ⇒ 絵の具に興味をもち 赤・青・黄の色が混ざる様子を楽しむ
9月 色と形で表現 ⇒ 楽器を観察し 本物と同じ色や形をクレパスで表現する
10月 クレパスで色まぜあそび ⇒ クレパスでも色が混ざることや スクラッチから色の鮮やかさに 興味を持つ
11月 色水で色作りをする ⇒ きれいな色 濁った色 など様々な色作りの探求をする

3. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・活動のために準備した素材や道具、環境の設定
- ・活動中の子供の姿・声、子供同士や教諭との関わり 等を記載ください。

準備した材料および環境

クレパス、えのぐ、画用紙、画材一式

クレパスで描く

クレパスの色をより感じられるように黒の画用紙に、クレパスで描いた。

こどもたちは自由に様々な色を試しながら作品を作っていた。先生はこどもたちに何色かな？つぎはどんな色を使うの？とこどもたちが色を意識するような声掛けを行った。

こどもたちの声

「花火みたいだね！」「きれいに赤でぬれたよ」 「色が混ざってきれいだね」

絵具あそび

まずは赤・青・黄の3色を用意し、筆で色を塗ったり、ふいに色が混ざって別の色がある様子を楽しんだ。活動の後半では子供たちが緑や紫を意図的に作り作品の製作に使っていた。筆洗いでできる色水でも単色だったものが別の色と合わさり色が変わっていく様子に興味を持っていた。先生たちは何色と何色を混ぜたの？つぎはどんな色になるかな？と色の変化に興味を持ってもらえるような声掛けを意識した。

こどもたちの声

「青と黄色のあいだに緑ができたよ」「どうやってその色になったの？」

「赤いお花を描くよ」 「青い水が緑になったよ」

クレパスによる製作



3色の絵具から色々な色が生まれました



絵具による製作



4. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

今回の活動では主にクレパスと絵具の2種類の画材を用いましたが、クレパスでは力強いタッチでそれぞれの色を試しながら作品を作り、絵具では色が混ざる変化を楽しみながら作品を作っていました。隣の子がきれいな色を作った姿を見て、どうやって混ぜたの？と教え合っている姿も見られました。各色からイメージする絵のモチーフもこどもたちの個性が見られました。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

幼稚園・学校番号	1803417
施設名（園名等）	第一若草幼稚園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

音

<テーマの設定理由>

保育室でふと全員が静かになった時、周囲から色々な音が聞こえてくる事に気付きました。エアコンの音・鳥の声・周りには音があふれていました。これらの音を何の音か当てっこすることで、音への子供たちの関心が強くなってきました。そして、普段から慣れ親しんでいる楽器を使って色々な音を真似っこしたり、表現してみたいと思いました。

2. 活動スケジュール

12月	音あそび	いろいろな打楽器で音を出してみる
1月	音の大小	ねずみの足音、ゾウの足音のように音の強弱を練習する。
2月	音真似	メロディオンを使ってサイレンの音などの真似をする
3月	合奏	先生のオルガンの伴奏に合わせて子供たちが自由に演奏する。

3. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・活動のために準備した素材や道具、環境の設定
- ・活動中の子供の姿・声、子供同士や教諭との関わり 等を記載ください。

準備した素材、道具

子どもたちが気軽に色々な音に触れられるよう多種多様な楽器を用意した。

- ・カスタネットやマラカス、タンバリンなどの小さな打楽器のセット
- ・大きな音を出す大太鼓と和太鼓
- ・音真似で使うメロディオン グロッケン ベルリラ
- ・伴奏用のオルガン

音あそび 音の大小

活動の前半では打楽器をメインに活動を行いました。4～5人の小グループを作り、それぞれ別の楽器を使って音を出すことから始めました。5分くらいを目安に自由に演奏を行い時間になると友達と楽器を交換して色々な楽器を演奏できるようにしました。最初は自信がなさげに叩いていた子供たちも徐々にたのしく大きい音が出せるようになりました。自由な演奏の次のステップとして、みんなで同じリズムで叩く練習をしました。おなじリズムでいろいろな楽器の音がするとにぎやかで楽しい音楽になりました。

活動の2回目として音の強弱の練習をしました。襦袢の足音で小さい音で鳴らし、ゾウの足音で大きい音を鳴らしました。子供たちは注意深く小さい音で叩いたり、元気に大きい音で叩いたりとても楽しそうに音を出していました。

子どもたちの声

「きれいに音が出せたよ」「この楽器はどうやって持つの?」「ゾウの足音はうるさすぎる!」

音真似

次の活動ではメロディオンやグロッケンなどの音階のある楽器をメインに活動を行いました。まずはドレミファの音階を色々な楽器で交代しながら演奏をしました。子どもたちは楽器によって音の大きさやひびきの違いを感じていました。次にサイレンなどの2音でマネできる音を各楽器で行いました。サイレンの音は子どもたちに大盛り上がりで、なんどもサイレンの音を鳴らしていました。

「同じ音でもちがうね」「救急車の音だよ」

合奏

先生のオルガンの演奏に合わせて子供たちが楽器を演奏しました。合奏の時も初ミの足音の音やゾウの足音で音を大小したりしました。楽器を交代しながら演奏することで、楽器ごとの特徴や音の大きさを体験できました。

こどもたちの声

「次はあの楽器をやりたいな」「すごく大きい音がだせたよ！」



先生の伴奏に合わせて楽器を演奏します。



合奏風景

4. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

今回の活動を通じていろいろな楽器に触れたことで音への興味関心を引き出せたと思います。意外な音が鳴る楽器に対してどうやって音が出ているの？と子どもたちも興味を持っていました。最初は遠慮がちに音を出していた子どもだんだん大きい音が出せるようになり良かったです。子どもたち同士でも、音の出し方を教え合ったりする姿も見られました。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

幼稚園・学校番号	1803417
施設名（園名等）	第一若草幼稚園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

光

<テーマの設定理由>

懐中電灯を使用して遊んだランタンや影絵の出し物を観て光が物に当たった時の影の大きさや色見など様々なことに気が付き喜んで遊ぶ姿があった。自然光が入りやすい場所や道具を活用して子どもたちの興味や関心につなげていきたい。

2. 活動スケジュール

7月 暗闇と光 ランタン制作

8月 色と光 ランタンの色に光を当てることで影に色がつくことを知る

11月 光と影 影絵に触れる

1月 自分で影絵を作る 色や形を自分なりに工夫して制作する

3. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・活動のために準備した素材や道具、環境の設定
- ・活動中の子供の姿・声、子供同士や教諭との関わり 等を記載ください。

準備した素材、道具

投光器、カラーセロファン、スクリーン

ランタン製作

赤、青、黄3種類のカラーセロファンを利用して、ランタンを製作した。子供たちが自分の作ったランタンを光に当てると、スクリーンにその色が映し出されて光に色がつく様子を観察した。また園庭に出て自然光をランタンに通してみる子供たちの姿も見られ、明るい場所と暗い場所の見え方の違いも楽しんでいた。先生の声掛けとして子供たちがランタンを製作するにあたり、光に当てるとどうなるかな？太陽にすかすとどうなるかな？と子供たちの想像力をかき立てるように意識した。

子供たちの声

「光がきれいになったよ」「いろいろな色できれいだね」「太陽にかざすと光るよ」

「映画みたいだね」

影絵あそび

投光器を使ってスクリーンに影を映して影絵遊びを行った。まず自分の影が自分より大きいことで大盛り上がり、大きくなった自分の姿でポーズをとって楽しんでいた。先生がクイズ形式で影絵を披露するところどもたちはカニやうさぎと大声で答え、次にこどもたちで実践してみた。先生の声掛けとして、光りに手を近づけるとどうかな？手の向きはどうかな？と影の見え方や大きさの変化に子供たちが気づくよう工夫した。

子供たちの声

「影が大きくなったよ！」「こうやると犬みたいだよ」「天井に影が映ってるよ」

カラーセロファンからランタンを製作します



壁やスクリーンにランタンの光を映しました



園庭に出て太陽の光を透かします





壁や天井に写して影絵を行いました。



4. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

ランタン作りでは製作中からどんな風に映るのかな？と子どもたちはワクワクしながら製作をし、ときおり作品をのぞき込んだりしていました。暗くした部屋で光にあてるととても綺麗に映ったので、自分の作品と友達作品を見比べたり、とても楽しそうにしていました。また園庭で太陽の光に当てるとまた違った見え方をしたので、光にも種類があることを発見しました。

影絵遊びでは影が大小することに、子どもたちは興味を示し、先生やお友達の発表をみて楽しんでいました。